

ＰＢＴ樹脂の永遠の課題である反りを大幅に改善した画期的新材料“NOVADURAN™ LX-530V”

三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社

三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社(本社：東京都港区、社長：香坂 靖)は、このたび超低反り性ポリブチレンテレフタレート(PBT)樹脂“NOVADURAN™ LX-530V”の製品化に成功しました。

“NOVADURAN™ LX-530V”は当社独自のコンパウンド技術により、従来技術では到達出来なかったレベルでPBT樹脂の寸法安定性を大幅に向上させた新材料です。

GF強化PBT樹脂は耐熱性、耐薬品性、絶縁特性、成形性等に優れるため、コネクタ、リレー、ECUケースなどの車載電装部品を中心に幅広く用いられています。ところが結晶性ポリマー特有の弱点である反りの発生は、高い寸法精度の要求される大型筐体部品への適用を困難にしていました。

従来技術においては、収縮率の低い非晶性樹脂とのポリマーアロイや、無機充填剤の形状調整等によって低反り性を付与してはいましたが、機械的強度や耐熱性の低下などを生じることから、寸法の厳しい用途に適応し得るだけの、十分な低反り性を獲得するには至っておりませんでした。

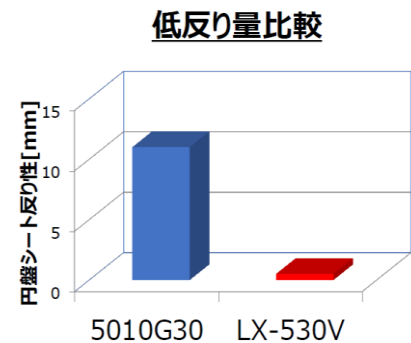
“NOVADURAN™ LX-530V”では、当社独自のコンパウンド技術によりモルフロジーを制御し、PBT樹脂の長所を維持したまま、反りを飛躍的に改良したGF強化PBT樹脂の製品化に成功致しました。

従来のGF30%強化PBT樹脂に比べて、反り量は約1/10以下を達成しており、高い寸法精度の要求されるECUケース、各種バッテリーケース、HUD(ヘッドアップディスプレイ)等の大型筐体部品等に極めて好適な材料です。更には低比重1.36の特徴を活かし車載部品の軽量化にも大きく貢献します。

“NOVADURAN™ LX-530V”は、これらの優れた特徴を活かしパナソニック株式会社 オートモーティブ社製車載筐体部品への採用が決定しています。



写真.円盤シートの反り比較(左：LX-530V、右：一般GF30%強化PBT)



(三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社の概要)

1. 本社：東京都港区
2. 支店：大阪支店(大阪府大阪市)、名古屋支店(愛知県名古屋市)
3. 技術拠点：技術センター(神奈川県平塚市)
4. 社長：香坂 靖
5. 資本金：30億円(三菱ガス化学株式会社：50%出資、三菱ケミカル株式会社：50%出資)

[本件に関するお問い合わせ先]

三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社

第2事業本部 企画部(電話 03-6274-9185)

住所：東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル25F